

今月のTOPICS

「インフルエンザ」

寒い日が多くなり、冬の気配が濃くなってきました。もうすぐインフルエンザ流行の季節がやってきます。知っているようで知らないインフルエンザについてのあれこれを、薬剤師の大沢雄介さんに教えてもらいました。



○ インフルエンザの症状は …

- ① 急な高熱(38度以上)
② 頭痛、関節痛、筋肉痛、脱力感などの「全身症状」
いわゆる風邪の症状(のどの痛み、鼻水、咳、くしゃみなど)が少ないのが特徴です。免疫力の低い小児や高齢者は「合併症」を引き起こすと危険なので注意が必要です。

○ 治療の中心は抗インフルエンザ薬

発症後48時間以内は抗インフルエンザ薬が有効です。ウイルスを「殺傷」するのではなく「増殖を抑制」し、症状の改善を1~2日早める効果があります。

処方される抗インフルエンザ薬

- タミフル…経口カプセル
※もっとも一般的
- リレンザ…吸入薬
- イナビル…吸入薬

※受診して薬を処方されたら、指示通りの分量を最後までしっかり飲みましょう。



○ かかってしまったら …

- ▶ まずは医療機関で診察を受け、処方された薬をしっかり飲みましょう。そして免疫力回復のために「よく食べ、よく寝る」—自宅での安静療養が一番です。
▶ インフルエンザウイルスは、飛沫(空気中)で感染します。くしゃみなどで周囲にウイルスを飛ばさないようマスクをし、外出しないことが大切。出席(出社)停止期間は、発症後5日間かつ解熱後2日間です。

○ インフルエンザの予防には …

【予防接種をしましょう】

ワクチンの接種によって抗体ができるまで1~2週間かかるので、流行の前(12月まで)に接種するのがおすすです。とはいえ、予防接種は「感染しない」のではなく「感染しても重篤化しない」というものなので、油断は禁物。流行期にはむやみに「人混みに出かけない」ことがポイントです。

【加湿と休養】

インフルエンザウイルスは、湿度に弱いもの。室内は加湿器などで常に50~60%の湿度を保ちましょう。

【外出後の手洗い】

外から帰ったら、手洗い、うがいを習慣にしましょう。アルコール消毒も有効です。

薬の専門知識を要す国家資格である薬剤師は、薬局のほか病院や保健所、製薬メーカー等さまざまな場所で活躍しています。勤務する場所によって少しずつ仕事内容が変わりますが、今回は「薬局」ではたらく「薬局薬剤師」の日常の仕事のをぞいてみました。



患者さんの過去のデータを考慮しながらお薬を準備します。「かかりつけ薬局」なら、お薬の重複、ほかの薬との飲み合わせなどもチェックしてくれるので、複数の医療機関にかかっている方も安心です。



薬局店頭にお持ちいただいた「処方せん」をお預かりします。



チェックされた処方せんにもとづき、「調剤」します。



▶ 店頭には、一般医薬品について相談に来られる方もたくさんいます。数えきれない種類の市販薬も特徴を把握し、さまざまな疑問質問にお答えします。

▲この薬局は「こどもを守る安心の家」として地域の安全に協力しています。気軽に立ち寄れるので小学生から「夏休みの宿題」の相談を受けることもあるそうです。



お薬の「服薬指導」。「かかりつけ薬局」は、患者さんの体調や生活状況などをうかがいながら、親身になってお話できるのがいいところです。



多種類の服薬が必要な方には、一回分ずつの個別包装は飲み忘れがなくて便利です。専用の機械で小分けにします。

「かかりつけ薬局」の薬剤師は、いつも地域の患者さんのことを考えています。皆さんのための「かかりつけ薬局」をもっともっと活用してください!

はい、お答えします!

Q. 処方せんはいつまで有効ですか?

A. 処方せんにも使用期限(有効期限)があります。医療機関から発行された日も含めて4日間で、これには土日・祝日も含まれます。処方せんをもらった後、早めにかかりつけ薬局へ行きましょう。

Q. ジェネリック医薬品って何ですか?

A. ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、特許の切れた新薬と同じ有効性・安全性が認められた低価格な薬です。ジェネリック医薬品を使いたい方は医師や薬剤師に相談してください。



▲上田市の国保加入者に配布している「ジェネリック医薬品お願いカード」

このコーナーでは毎月、読者の方からの質問に薬剤師がお答えします。お薬に対する素朴な疑問、質問、なんでもお寄せください。

宛先: 上田薬剤師会 〒386-0012 上田市中央6-3-41 週刊うえだ「はい、お答えします!」係
E-mail: weekly-ueda@po3.ueda.ne.jp FAX: 0268-22-6201

24時間365日
対応します!

夜間 休日

当番薬局

上田薬剤師会は平成5年から「休日当番薬局制度」を始めました。会員薬局を地域で4つのブロックに分け、各ブロックにつき1薬局が日曜・祝日の午前9時から午後7時まで当番にあたっています。

また平成8年に開始した「夜間当番薬局制度」は、毎日(365日)午後7時から翌朝7時まで、専用ダイヤルにかかってきた電話を当番の薬局に転送し、対応しています。「かかりつけ薬局」に連絡がつかなくてお困りの際は、☎0268-21-0660へご連絡ください。

このように上田薬剤師会は、24時間365日、地域の皆さんが薬のことで困らないよう今後も取り組んでいきます。

